

2011年7月27日(水)

成績を上げるために「ノート」を活用しよう
効果の上がる「ノート」のつくり方

開倫塾
塾長 林 明夫

Q：ノートを活用すると成績は上がるのですか。

A：(林明夫：以下省略)「ノート」を活用すると成績はどんどん上がると私は考えます。なぜなら、「ノート」を活用して成績をどんどん上げる人がいるのは事実だからです。

Q：どのように「ノート」を活用したらよいのですか。

A：(1)授業中は、先生のお話になったことを「どんどん」ノートにメモし続ける。一言残らずノートにメモをするつもりで、先生の話真剣に聞くことです。

(2)授業中に先生が黒板に書いたことも、一文字残らずノートにメモをし続ける。教室の後方に座っていて、前の人々が妨げになって黒板の文字が見えないときは、立ち上がって黒板に何が書いてあるかを見ることです。

(3)授業中に先生のお話をどんどんノートにメモし続けることや黒板に書いたことをノートにメモし続けるのは、大切な能力です。がんばって、人の話をノートにメモし、黒板に書いてあることをノートにメモし続ける能力を、一日も早く身につけましょうね。

「ノート」を取るができるのは1つの能力

Q：えー、ノートを取るのには能力なのですか。

A：その通りです。私は、ロシア語の授業を聞いて先生の話をもノートにメモすることも、黒板に書いてあることをノートにメモすることもできません。それは、「ロシア語でノートを取る能力」がないからでず。しかし、日本語での授業ならノートは取れます。それは、「日本語でノートを取る能力」があるからです。

Q：なるほど、ノートを取るのには能力なのですね。

A：(1)はい。ですから、英語ができるかどうかの1つの目安は、「英語での授業でノートが取れる」となります。

(2)まずは、「日本語の授業でノートを取る能力」を、次に「英語の授業でノートを取る能力」を一日も早く身につけて下さいね。将来、皆さんが英語以外の外国語を学ぶ場合には、その言語で授業を受けたときにノートが取れるかどうかを努力目標の1つにして下さいね。

Q：なぜ授業中に先生の話や先生が黒板に書いたことをノートにどんどんメモすることが必要なのですか。

A：とてもよい質問ですね。(It is a very good question!!)

(1)授業で大事なものは、先生の話の聞いたり、授業中に様々な活動に参加したりして「ああ、このことはこういうことなのか」と「よくわかる」^ふ、「腑に落ちる」^ふ、「理解」することです。授業で一番大事なものは、「うんなるほど」と「理解」することだと私は考えます。

(2)しかし、せっかく授業中に「うんなるほど」と「理解」することができても、時間が経つにつれてどんどん忘れてしまうことが多いのも事実です。理解できたことが10あったとしても、授業後に何時間か、何日か、何か月か経ったと、そのうちの何割かは忘れてしまうものです。

(3)では、どうしたらよいか。授業中の先生のお話や板書事項の理解に努めながら、できるだけそのままノートにメモをしておき、そのノートを繰り返し勉強し直し、自分のものとして身につける、定着させることが大事と私は考えます。

(4)そのためには、あとで繰り返しての勉強がしやすいように、授業を受けながら、また、授業が終了したあとに、「ノートを整理すること」が大事です。

(5)対応する「教科書」や「教材」、「問題集」などの「ページ」や「項目名」を入れる、大事なことはラインマーカーで印をつける・四方を線で囲むなど、さまざまな工夫をして下さいね。見やすくする、読みやすくすると、あとで勉強するときにとっても役に立ちます。

(6)授業中のことですので、ノートに取る「文字」や「数字」の「美しさ」、「きれいさ」はあまり気にしないようにしましょう。「自分があとで読んでわかればよい」というくらいに気楽に考えて、とにかくどんどん「ノート」を取りましょう。

Q：では、どのようにして「ノート」を繰り返し勉強し直し、授業中に「うんなるほど」と「理解」したことを身につける、「定着」させたらよいのですか。

A：(1)この「塾長特別講義シリーズ」第1回目でお話した「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」の「定着のための三大練習」を、「ノート」についてもそっくりやってみて下さい。

(2)一度「理解」した学校の教科書や開倫塾のテキスト、教材、問題集を「定着のための三大練習」で繰り返し勉強し直し、スミからスミまですべて覚えてしまうように、「ノート」もスミからスミまで覚えて下さいね。必ず成績が上がりますよ。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)学校や開倫塾の授業中に熱心に「ノート」を取ることに、取った「ノート」を「定着のための三大練習」で、スミからスミまですべて覚え切ることが、将来皆様が大学や大学院に進学をしたり、社会に出て仕事やさまざまな活動をしたるときに、ものすごく役に立ちます。

(2)上の学校に行けば行くほど、勉強の内容は複雑になりますから、その場で「理解」はできても、すべては覚えられません。そのため、ノートを取ることが大切となります。

(3) 社会に出ると「教科書」や「参考書」などはないことがほとんどなので、新しいことを教わったらすべて「ノート」にメモをし、あとで繰り返し勉強し直してどんどん覚え続けなければ、仕事が覚えられないことも多いです。

(4) 小学校や中学校、高校で学んでいる間にノートを取る練習をして、大学や大学院に進学してから、また、社会に出てから大いに役立てて下さいね。

では、今日はこの辺で。また、明日。

以上